

## ◎阪南みらい会議からの新総合計画にかかる将来の都市像への 提言について

阪南みらい会議は、新たなまちづくりの指針となる総合計画の策定に向けて、将来のまちづくりへの市民の想いを提言するため、公募および団体経験者を合わせ、本年2月、委員21名にて組織されました。

以降、市民主体により闊達な議論を重ね、14回の会議開催を経て、下記のとおり委員21名の想いを取りまとめられました。

今後は、この提言を、新総合計画にかかる将来の都市像にどのように反映するかを検討が必要となります。

### 【将来の都市像】

ともにさかそう笑顔とお互いさまのまち 阪南

- ○安全安心のまち
- ○助け合いのまち
- ○自然、歴史、産業を活かしたまち
- ○官民協働のまち

自分を取り巻く人や自然等の環境を慈しみ、思いやり、繋がりながら【お互いさま】、市民・議会・行政が協働して【ともに】、市内に花を咲き誇らせ、緑を大切に自然を守る【花を咲かせる】、産業や地域資源を活かしてまちを発展させる【まちを栄（さ）かせる】、人（人財）を大切にする【人を咲かせる】ことによって、市民みんなから笑顔がこぼれる【笑顔を咲かせる】まちにしていこう、という想いを込めています。